

②利用実績

a.WEB サイトアクセス状況

(訪問数)

- WEB サイト「沖縄北部観光情報コミュニケーションサイト」について、平成 27 年 8 月からの訪問数を項目別に見てみると、最も多いのは検索エンジンからの訪問で 68%となっている。
- WEB サイトでの情報取得については、ページビュー（ページ閲覧数、以下 PV という）数が多いほど、ページにとどまって多くの情報を取得しているものと推測できる。観光情報であるがゆえに季節変動の影響はあるが、PV は毎月 1 万を超えている。特に 8 月は夏休みの影響もあり、PV は 17,757 となっている。
- WEB サイトを 1 月にリニューアルし、SNS から WEB サイトへ誘導するシステムとした。これにより 1 月から SNS からのアクセス数が急激に伸びている。

図表 沖縄北部観光情報コミュニケーションサイトへの項目別アクセス数

月別	アクセス数					PV		直帰率	新規率	1件当たりの滞在時間(分)
	① 検索エンジン	② SNS	③ リンク	④ 直接入力	⑤ 合計	⑥ 月別PV	⑦ PV数/件			
8月	6,338	52	832	772	7,994	17,757	2.2	70%	80%	1:23
9月	6,420	45	436	749	7,650	17,594	2.3	69%	81%	1:25
10月	5,673	54	588	752	7,067	15,900	2.2	68%	80%	1:34
11月	4,777	32	1,145	618	6,572	14,440	2.2	70%	80%	1:28
12月	3,311	62	663	583	4,619	13,484	2.9	50%	79%	1:34
1月	1,157	925	563	361	3,006	13,646	4.5	6%	79%	1:32
2月	1,651	1,123	380	396	3,550	14,199	4.0	1%	70%	1:34
3月	914	2,208	284	364	3,770	13,482	3.6	1%	62%	1:16
合計	30,241	4,501	4,891	4,595	44,228					

項目別カウント ※2016 年 3 月 20 日までの集計

①検索エンジンからの訪問者数

②ソーシャルメディアからの訪問者数

③他のサイトリンクからの訪問者数

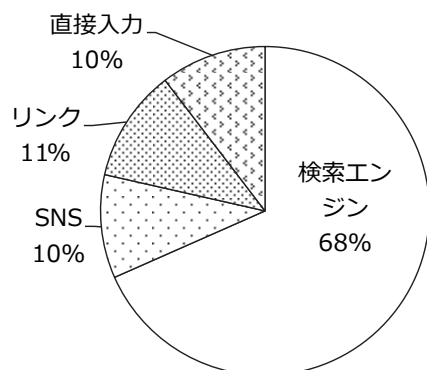
④ブラウザのブックマーク、URL 直接入力、メールにある URL リンクをクリックした数

⑤月間アクセス数の合計

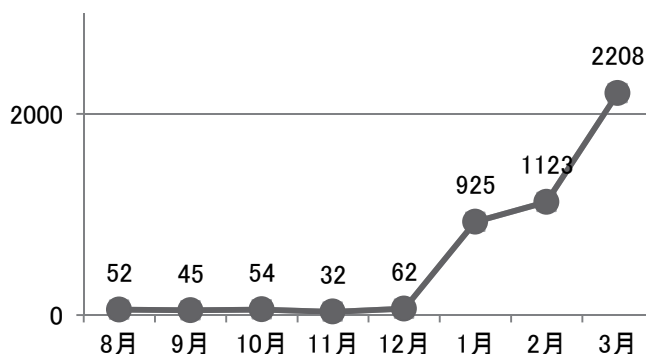
⑥月間 PV 閲覧ページ数

⑦PV 数/件：アクセス 1 件あたりの PV 数

図表 項目別アクセス数



図表 SNSからのアクセス数



(アクセスユーザー)

- ・ 国別アクセスユーザーは日本人が最も多く、次いでアメリカ、台湾、香港の方が利用していることがわかる。
- ・ 国内アクセスユーザーは沖縄県が最も高くなっているが、県外を見ると大阪府が急増しており、東京都を追い越して最も多くなっている。

図表 国別訪問回数

国別	訪問回数	
	平成26年度	平成27年度
日本	23,785	42,049
アメリカ	97	546
台湾	235	234
香港	85	138
その他5か国	181	433

図表 国内地域別訪問回数

日本国内別	訪問回数	
	平成26年度	平成27年度
沖縄県	7,984	11,375
大阪府	2,702	7,492
東京都	5,060	7,300
福岡県	1,669	4,675
神奈川県	884	2,405
愛知県	582	1,969
千葉県	860	662
埼玉県	402	633
兵庫県	406	628
京都府	966	604

(参照リンク)

- ・ 検索キーワードは「沖縄 北部 観光」が最も多く、上位3つのキーワードには「沖縄」「北部」「観光」という言葉で構成されている。
- ・ 参照リンクは Facebook からが最も多く、参照リンク全体の 65%を占めている。1月にリニューあるした Facebook から WEB サイトへの誘導の効果が表れている。

図表 検索キーワード別訪問回数

検索キーワード	訪問回数	
	平成26年度	平成27年度
沖縄 北部 観光	326	506
沖縄北部観光	166	224
沖縄観光マップpdf	—	154
やんばる 観光	116	135
羽地の駅	—	99
沖縄 北部 ドライブ	181	92
沖縄 北部 イベント	—	84
沖縄 観光 地図 pdf	—	80
その他	659	14,843

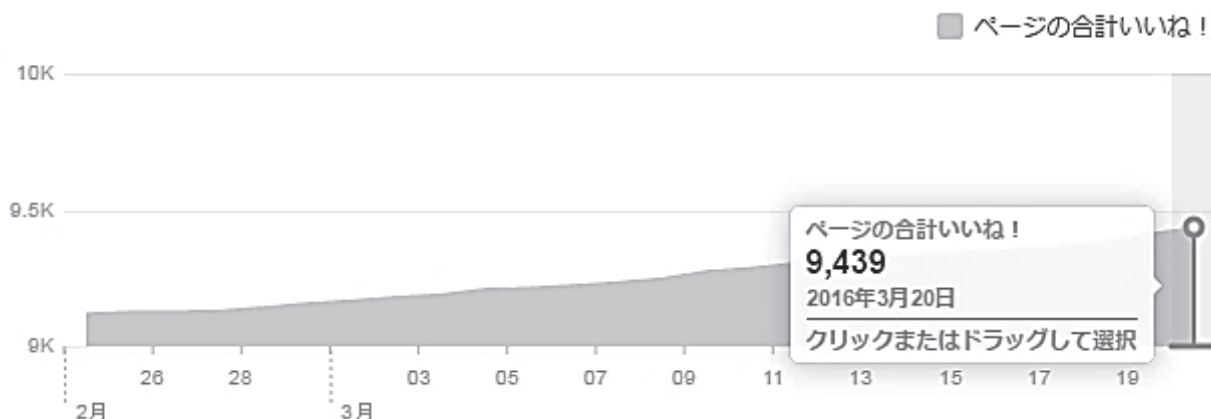
図表 国内地域別訪問回数

参照リンク	訪問回数			
	平成26年度		平成27年度	
Facebook／モバイル・パソコン	693	27%	4,859	65%
ツール・ド・おきなわ	989	39%	956	13%
伊江島観光協会	—	—	377	5%
「道の駅」許田 やんばる物産センター	298	12%	350	5%
国頭村役場	—	—	289	4%
イチダースネット	246	10%	259	3%
その他	302	12%	402	5%

b. Facebook 「いいね！」件数

- Facebook ページは、平成 27 年 3 月 20 日時点での 3,097 件から、平成 28 年 3 月 20 日時点で 9,439 件となっており、約 1 年間で 6,342 件増加した。
- Facebook は 1 日 2 回の更新をほぼ毎日続けており、内容に応じて広告を出すなどして閲覧者の増加を促した。また、名桜大学の中国人留学生による中国語翻訳も行い、インバウンドへの対応も行った。
- 利用者（閲覧者）の数を男女別年齢別に見ると、男女別では男性が若干高いもののほぼ同数となっている。年齢別だと 35-44 歳が最も多く、次いで 25-34 歳となっている。

図表 Facebook ページへの「いいね！」の数



Facebook 3 月 20 日現在「いいね！」9,439 件
集計期間（2015 年 3 月 20 日～2016 年 3 月 20 日）

図表 投稿記事数、リーチ数、いいね！数の分析

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
① 投稿記事数	31	68	75	67	50	36	48	27
② リーチ数合計／月	143,736	362,469	382,985	417,778	334,081	243,841	284,302	161,761
③ いいね！合計／月	9,346	25,194	26,478	25,144	18,965	13,393	15,359	7,799

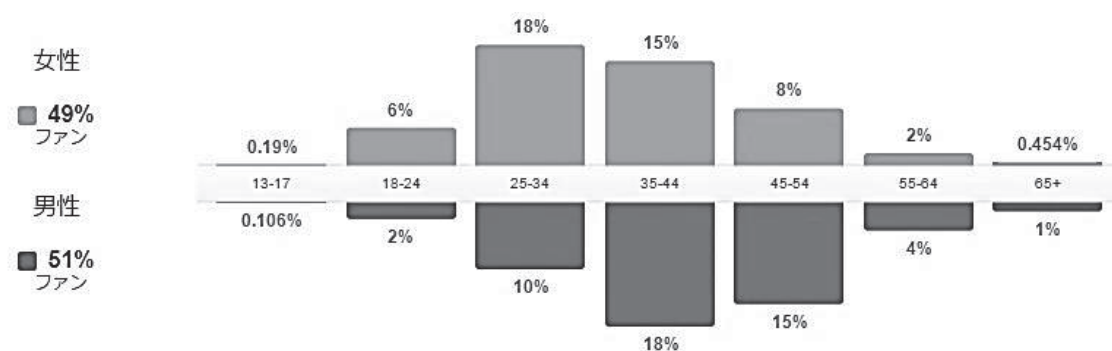
※ 8 月は 20 日～31 日、3 月は 1 日～20 日までの数値。

① 投稿記事数：Facebook への投稿数

② リーチ数合計／月：投稿記事を閲覧した人数／月

③ いいね！合計／月：投稿記事の内容に「いいね！」（支持する）とした人数／月

図表 Facebook の利用者（男女別、年齢層別）



資料: Facebook ページ インサイトより

c.Facebook 掲載依頼

- Facebook を通して広告掲載の依頼があり、Facebook の活用を図るため取材を行い、記事掲載を実施した。依頼社の目的は、利用者が多い当 Facebook を利用した宣伝広告、知名度向上である。
- Facebook の利用者が多いことを活用し、今後も宣伝広告を増やしていきたい。

	日付	方法	掲載社	投稿内容	いいね数
1	8月19日	投稿	ジェラートカフェリリー	店の商品紹介	545
2	9月19日	投稿	炭焼家てんぷす	バーガーフェスタ用、新バーガーの紹介	366
3	10月20日	投稿	名護城公園	名護城公園 ビジターセンター subacoの紹介	359

(3)成果と課題

①事業の成果

- 昨年度に比べ、Facebook を経由しての WEB サイトアクセスが大幅に増加していることから、Facebook への投稿と、WEB システムの改良効果が表れている。
- 海外からのアクセス数も増えている。
- 各市町村・観光協会のホームページにリンクバナーを設置したことによって、そこを経由してアクセスしてくる回数が増えている。
- Facebook 「いいね！」の数は、1 年間で 6,342 件増加した。今後も引き続き投稿を続け最新情報を更新することで、利用拡大を図る。

②今後の課題

- 今後も情報の集約、Facebook 等を活用した最新情報の提供、国内外の観光客への PR とコミュニケーションをさらに充実させる。
- 関係団体との相互リンクなどを今後も拡大し、アクセス数を増やしていく。
- WEB サイトに直接投稿した記事を Facebook に同時掲載しているが、効果的なリンクの方法を検証していく必要がある。
- Facebook 閲覧者のニーズを把握・分析し、やんばるへ訪れる方がどのような情報を求めているかを精査し、より情報力のある記事を投稿していく。
- 今後の WEB サイトの自立に向け、運営方法や収益方法を検討する必要がある。

2-2. 情報拠点の充実強化

(1)目的

平成 24 年度事業において情報の集約・発信の必要性があげられ、平成 25 年度にはやんばるの観光情報を発信するやんばる観光案内コーナーを設置、平成 26 年度には利用者がさらに利用し易いように、観光案内コーナーの充実強化を図った。

やんばる観光案内コーナーでは、「観光客のニーズ把握」に重点を置き、案内ガイドによる報告でその傾向を把握してきた。概ねの傾向は、美ら海水族館など主な目的地を訪問する前後の時間で周ることのできる観光地や飲食店の紹介、やんばる各地への距離や時間に関する情報ニーズが高いことが確認された。

これらの結果を受け、平成 27 年度は情報拠点「やんばる観光案内コーナー」のさらなる充実強化を図り、観光客のやんばる周遊を促した。

(2)実施概要

平成 25 年度に道の駅許田道路情報ターミナル内に設置した「やんばる観光案内コーナー」の充実を図るため、下記の取組みを実施した。

①やんばる観光案内コーナー充実強化の取組み

a. 案内ガイドの配置継続

- 平成 26 年度に引き続き、やんばる観光案内コーナーにガイドを常駐させ、観光客のニーズを把握しながらやんばるでの周遊・滞在・消費を促した。



ガイドによる説明



充実した多言語パンフレット

b. 観光案内コーナーのポスター設置

- 道の駅から観光案内コーナーへ動線を作るため、道の駅許田の施設7か所に観光案内コーナーのポスターを貼り、観光客の集客を図った。



物産センター外の柱



物産センター内

c. 黒板の設置

- 観光客を観光案内コーナーへ誘導する手段のひとつとして、やんばるの食べ物や景色、植物などの写真を掲載した黒板を設置した。
- 黒板には写真の他に、毎週末開催される各地域のイベントを紹介した。



イベント情報を掲載



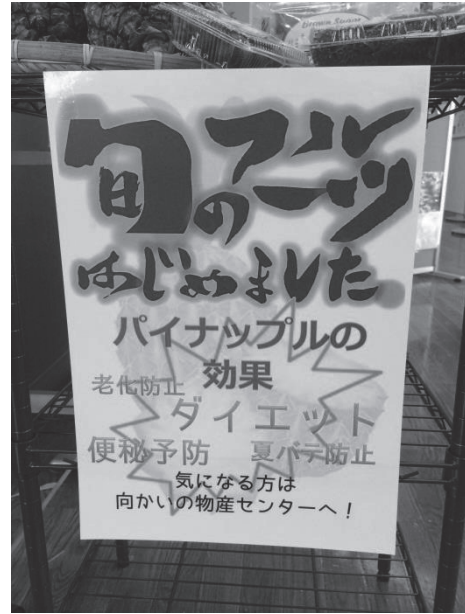
大きめの写真を掲載

d. 季節のフルーツの紹介

- ・ 観光物産センターで販売されている季節のフルーツやお土産品を展示し、物産センターや各地直売所での消費を促した。
- ・ 旬のフルーツを飾ることで、沖縄独特のフルーツの情報を提供し、季節感を味わえるようにした。



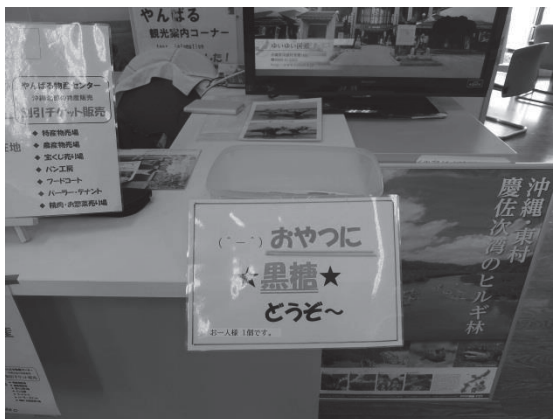
フルーツ展示の様子



フルーツの効果について紹介

e. 黒糖の配布

- ・ 観光客に地域産物への興味を促すため、毎週金曜日から月曜日にかけ、やんばる地域で製造している黒糖を配布した。



カウンターに設置された黒糖



伊平屋村産黒糖

f. 「やんばるゴールデンツアー（フライヤー）の配布」

- 観光案内コーナーで尋ねられる質問や、ガイドのお勧めコースなどを紹介し周遊を促すために、ガイドの意見を集約した「やんばるゴールデンツアー」と題するフライヤーを製作し、観光客に配布した。
- 道の駅許田からの距離と所要時間、カーナビゲーションに入力できる基本情報を掲載することで、観光客がよりスムーズに目的地までたどり着けるよう配慮した。
- 今年度は本部半島編を作成したが、次年度以降は北部3村編、東海岸編、南エリア編等ラインナップを拡大していく予定である。



ガイドさんお勧め(道の駅許田 観光案内コーナー)
やんばるゴールデンツアー
 ～本部半島編～

起点:道の駅許田

① 嵐山展望台 距離:17km 時間:30分	③ 今帰仁城跡 距離:11km 時間:20分
② 古宇利大橋 距離:14km 時間:20分	④ 備瀬フクギ並木 距離:8km 時間:20分
	⑤ 美ら海水族館 距離:2km 時間:10分

周遊するコースを写真付きで紹介

周辺お勧めスポット



美らテラス
 屋我地島から古宇利大橋へ渡る手前におります。レストラン、アクティビティ、買い物などがまとめて楽しめる人気スポットです。レンタサイクルで屋我地島、古宇利島をのんびり周遊すると、のどかな沖縄の雰囲気が味わえます。

やがじ花すば
 古宇利島の手前、屋我地島にある沖縄そば屋さん。古宇利島に行く前に、ぜひ屋我地島ものんびりドライブしてほしいです。メニューは「花すば」と「じゅーしー」だけ。やんばるにはそば屋さんがたくさんありますが、ぜひ訪れてほしいお店です。

亜熱帯茶屋
 2015年5月にオープンしたばかりのカフェ。ハンモックもあってゆったりのにんびり沖縄の時間を満喫できます。お庭のテーブルでハンモックにゆられて、素敵な景色を眺めながらおいしいごはんやスイーツを食べちゃいましょう。

ナビ情報

場所	住所	電話番号	営業時間
嵐山展望台	名護市呉我1460-2	0980-58-2446	売店 2～11月:9:00～18:00 12～1月:9:00～17:30
古宇利大橋	今帰仁村古宇利323-1 (古宇利島ふれあい広場)	0980-56-5785	
今帰仁城跡	今帰仁村字今治5101	0980-56-4400	8:00～18:00
備瀬フクギ並木	本部町備瀬626		
美ら海水族館	本部町石川424	0980-48-2741	通常:8:30～18:30 夏期:8:30～20:00
美らテラス	名護市字済井出大堂1311	0980-52-8082	10:00～18:00 不定休
やがじ花すば	名護市我部28	0980-52-8777	11:30～16:30 定休日:水
亜熱帯茶屋	本部町字野原60	0980-47-5360	11:00～夕暮れ時 定休日:不定休

道中にあるお勧めスポットとナビ情報

g. 観光ガイドの体験学習

- ガイドと共に、今後観光客にお勧めしたい各地域のプログラムを体験した。
- 案内ガイドが実際に体験することで、観光案内コーナーで紹介する際により臨場感のある説明をすることができ、観光客に対して効果的にアピールすることができた。
- 今後はさらに多くのスポットをガイドが体験することで美ら海水族館等の有名な観光施設だけでなく、まだあまり知られていない場所への誘導が期待できる。

表 観光ガイドが体験プログラム

日付	体験プログラム	場所
平成 27 年 7 月 23 日	カヌー、シュノーケリング	国頭村安田ヶ島
平成 27 年 12 月 15 日	もとぶ元気村施設見学（ガイド付き）	本部町
平成 28 年 1 月 29 日	松田鍾乳洞	宜野座村
平成 28 年 1 月 29 日	ふくらしやや自然体験塾 水牛車	金武町
平成 28 年 3 月 18 日	じんぶん学校半日体験	名護市



安田ヶ島カヌー体験



体験談を話す様子

②利用実績

- 道の駅許田情報ターミナル「やんばる観光案内コーナー」では、案内ガイドにより毎日の来場者数をカウントしている。
- 来場者は、道路情報ターミナルに入り、観光情報の閲覧、パンフレット取得等何らかの観光情報を得た人数をカウントしている。（道の駅関係者の休憩等は除く）
- 平成 27 年度は、8 月 12 日～平成 28 年 3 月 20 日までの期間で 72,869 人の利用があり、1 日当たりの平均利用者数は 334 人／日となった。特に、8～9 月、1 月の長期休みの時期は利用者が増えている。
- 平成 26 年度との比較のため、調査日の同期間（8 月 20 日～3 月 20 日）で比較すると、1 日あたりの平均来場者数は平成 26 年度の 306 人／日に対して、今年度は 329 人／日となっており、前年度よりも増加している。
- 平成 27 年度の時間帯別利用者数を見ると、前半（9：30～13：30）は平均 207 人／日、後半（13：30～17：30）は平均 127 人／日で、前半の利用者が 62%を占めている。

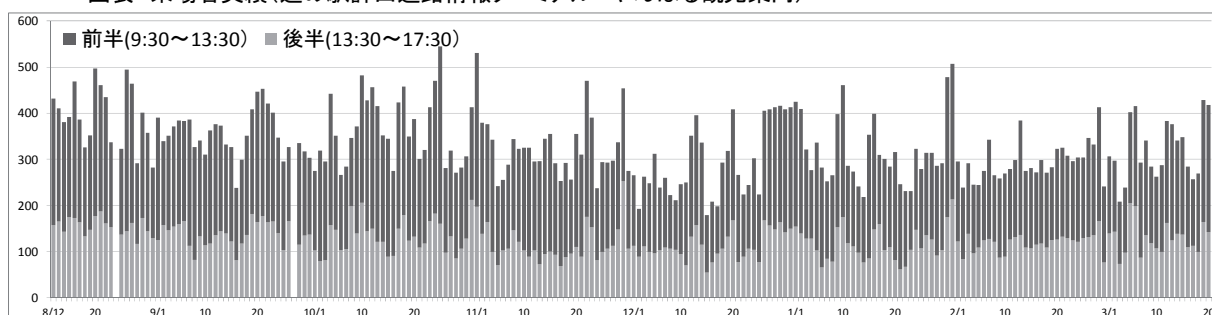
表 平成 27 度月別来場者数(人)

	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	総数
利用者数	7,492	10,295	11,240	9,825	9,117	9,905	8,556	6,439	72,896
日平均利用者数	394	355	363	328	294	320	295	322	334

表 平成 26 年度との比較

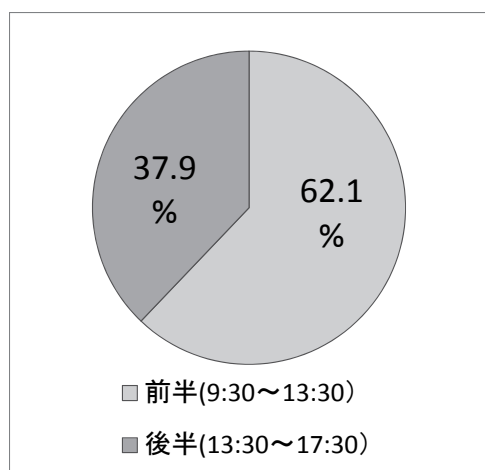
	平成 26 年度	平成 27 年度	備考
8 月 20 日～3 月 20 日来場者数(人)	62,498 人	69,720 人	前年比 12%増
1 日平均来場者数 (人/日)	306/日	329 人/日	同期間の平均人数/日
最大日来場者数 (人)	636 人	545 人	

図表 来場者実績(道の駅許田道路情報ターミナル やんばる観光案内)

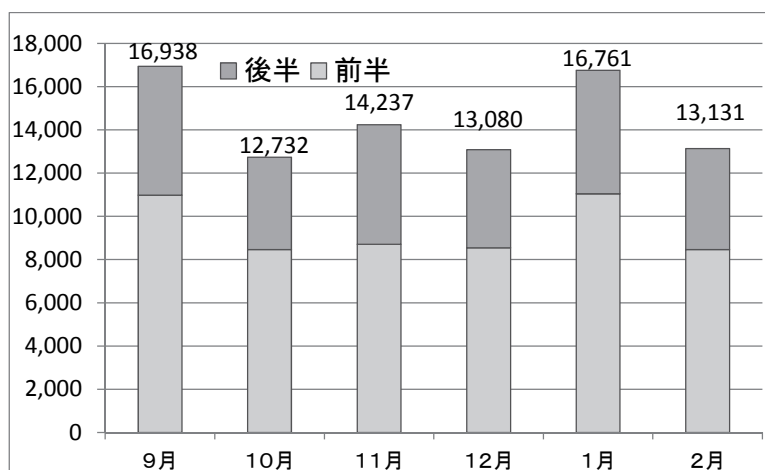


※来場者のカウントは、道路情報ターミナルに入った人のうち、観光情報の閲覧、パンフレット取得など何らかの観光情報を得た人数をカウントしている。(道の駅関係者の休憩等は除く)

図表 来場者時間帯比率



図表 月別来場者数実績(H27.9～H28.2)

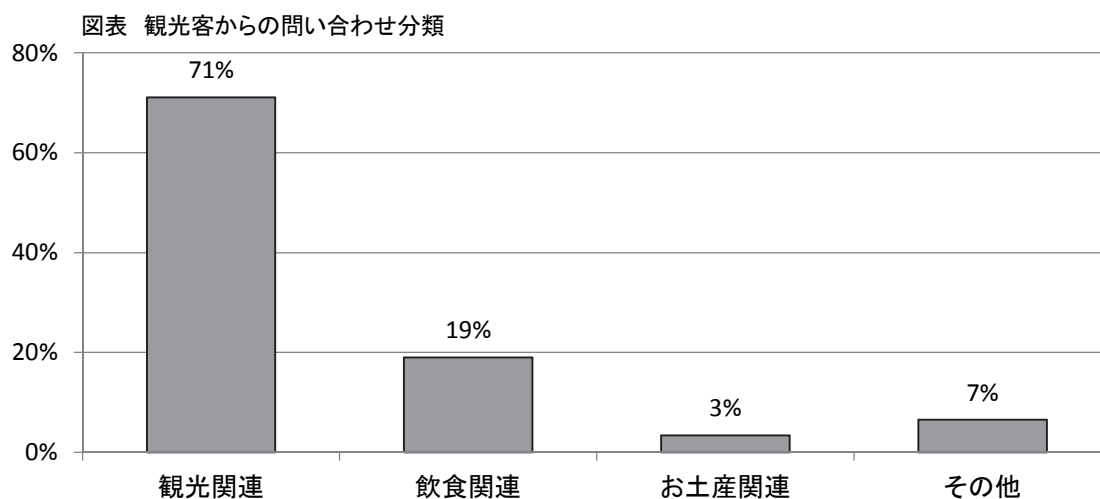


③観光客の問い合わせ内容

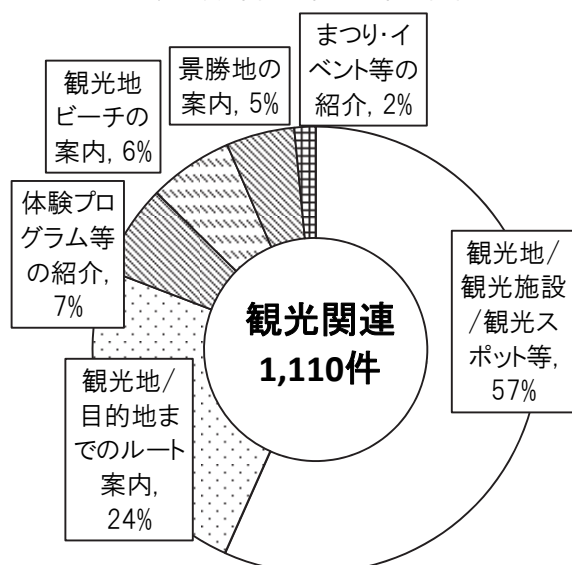
- やんばる観光案内コーナーでは、ガイドにより観光客からの問い合わせを日報に記録している。
- 最も多い問い合わせは「観光関連」で全体の 71%となっており、その中でも特に「観光地／観光施設／観光スポット等」が全体の 57%を占めている。次に多いのは、「観光地／目的地までのルート案内」で、24%ほどである。
- 「飲食関連」は、全体の 19%となっている。「そば屋」は、ほとんどが沖縄そばのおいしい店の問い合わせである。
- 「お土産関連」については、「農産物果物」に関することが全体の 60%と最も多く、「沖縄お菓子」23%、「沖縄工芸」17%と続いている。

表 観光客からのお問い合わせ分類(2月 15 日時点)

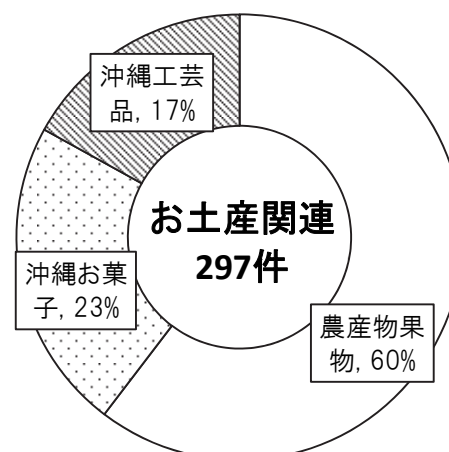
	総数	観光関連	飲食関連	お土産関連	その他
件数	1,562 件	1,110 件	297 件	53 件	102 件



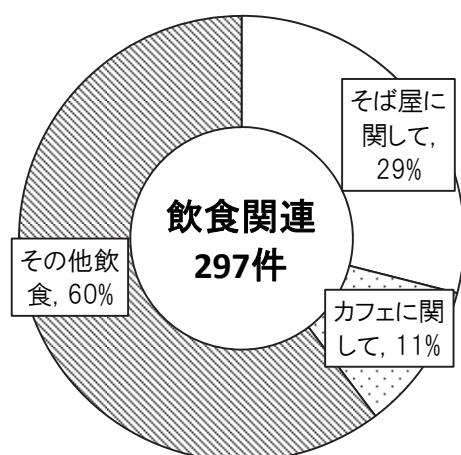
図表 観光関連の問い合わせ詳細



図表 飲食関連の問い合わせ詳細



図表 お土産関連の問い合わせ詳細



④観光案内コーナー取り扱いパンフレット

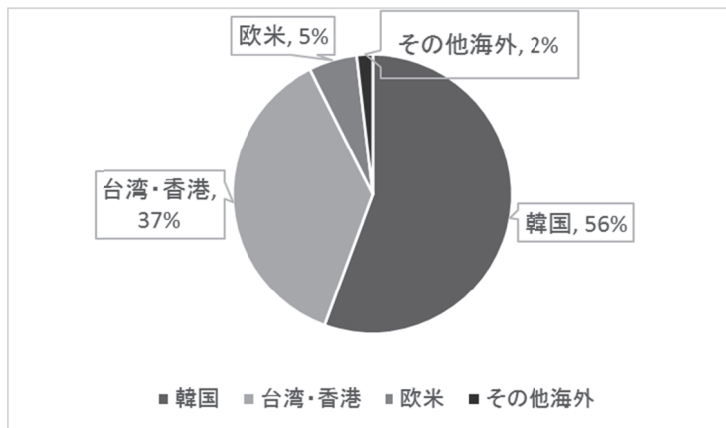
- ・ やんばる観光案内コーナーが取り扱うパンフレットは、1年間で約 170 種類、約 10 万部である。
- ・ 取扱いが多いのは、沖縄美ら海水族館、たびカタログ、やんばるの観光、大石林山などであり、取扱いが多いパンフレットは観光客が手に取り、足を運んでいる場所でもある。

表 やんばる観光案内コーナー取扱いパンフレット上位 10 位まで

	パンフレット	部数
1	沖縄美ら海水族館	9,600
2	たびカタログ	7,200
3	やんばるの観光(地図)	6,200
4	大石林山	2,100
5	沖縄ガイド	2,065
6	オリオンハッピーパーク	2,000
7	リカリカワルミ	2,000
8	古宇利島パンフ	2,000
9	今帰仁城跡	2,000
10	なきじんめぐり	1,800

⑤外国人訪問数

- ・ 観光案内コーナーに訪問された外国人をカウントした。(n=25 日間 期間:10 月 4 日～1 月 26 日)
- ・ 韓国が5割以上を占め、台湾、香港が約4割を占めた状態であり、欧米は5%であった。
- ・ 外国人の来沖人数では台湾が一番多いが、台湾、香港はレンタカーよりもバスで行動する団体旅行が多く、韓国はレンタカーを使用する個人旅行が主流であるため、外国人カウントでは韓国が多く占める結果になった。



(3)成果と課題

①事業の成果

- ・ 観光案内コーナーの利用者数は前年と比べ 12%増加しており、認知度も上がりつつある。
- ・ ガイドが体験学習することによって、知名度の低い観光地にも誘客が可能となり、今後に期待が出来る。
- ・ 観光客のニーズやガイドのオススメコースを組み合わせたフライヤーを作成し、着地してからの周遊を促せることが確認できた。。

②事業の課題

- ・ 観光案内コーナーの利用者を増やすためには、さらなる情報の充実に加え、広報、周知を図っていく必要がある。
- ・ やんばるの交流人口を増やす、滞在時間を延ばすためには、一極集中している観光地から観光客を分散させることを検討する必要がある。
- ・ 観光案内コーナーから消費につなげるためには、観光地だけを勧めるのではなく、オススメのお土産、農産物など、聞きに来る観光客に対し消費行動に結び付けられるような仕組の検討が必要である。

第3章 プロモーション

3-1. 東京プロモーション

(1)目的

- 東京プロモーションは、沖縄北部での周遊・消費を促すため、「やんばる」の知名度向上と12市町村が連携したPRを実証することを主な目的として参加した。
- 今年度各エリアで取り組んだモニターツアーの商品造成についてアドバイスをもらうため、各エリア代表と共に旅行社訪問を行った。

(2)実施方法

- 東京スカイツリーへ訪れた方を対象とした「Beautiful NIPPON 全国観光PRコーナー」に参加し、やんばるの観光について紹介した。
- 東京都内に本社企画部門がある旅行社を訪問し、各エリアで取り組んだモニターツアーについてプレゼンを行った。

1)東京プロモーション「Beautiful NIPPON 全国観光PRコーナー」

①目的

- 日本一早い桜の開花のPRをメインとして、やんばる地域の魅力発信、観光客誘客を目的とし、併せて沖縄国際洋蘭博2016もPRするために実施した。
- 12市町村が一同に「やんばる」をPRする機会の創出を目的に、各エリアから代表者が参加し、美ら島財団と共同で取り組んだ。

②実施概要

- 出展は、東京スカイツリー5Fにある「Beautiful NIPPON 全国観光PRコーナー」で実施した。
- さくら祭りをはじめとする12市町村の観光パンフレットを配布し、やんばるを紹介した。また、大型の地図を使い説明を行った。
- やんばるの知名度に関するアンケート調査も行い、回答者には沖縄県本部町八重岳の琉球寒緋桜の花の香りがするバスクリンを配布するなど「やんばる」のPRを図った。

表 東京プロモーションの概要

名称	東京スカイツリーオフィシャルパートナー「I LOVE ニッポン」プロジェクト 「春先へひとつ飛び！」プロジェクト 日本一早い桜の開花をPR in 東京スカイツリー
主催	一般社団法人沖縄美ら島財団
場所	東京スカイツリー5階『Beautiful NIPPON』全国観光PRコーナー
日時	平成28年1月4日(月)10:00～18:00 ～平成28年1月7日(木)10:00～18:00 計4日間
内容	名護市・今帰仁村・本部町のさくら祭り、やんばる地域全体、沖縄国際洋蘭博の紹介、アンケート調査
対象者	東京スカイツリー及び東京ソラマチ来場者



出展状況 パンフレット配布



出展状況 アンケート回答風景

③アンケート結果

- パンフレットを受け取ってもらった方に、やんばるの知名度に関するアンケート調査を行った。

表 アンケートの概要

調査目的	今回のフェア・さくら祭り・やんばる地域の知名度、美ら海水族館訪問回数、美ら海水族館に期待することについての調査。
調査方法	設問方式（選択・自由記述）
調査対象	東京スカイツリー及び東京ソラマチ来場者
回収数	463 件

問1 この催し物はどのように知りましたか？

